

【2023 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 コミュニケーション			選択必修	1	1.2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
ジェイソン・ディーン・スタージョン		C309	jsturjeon		水・木 14:30~16:00	
授業の目的・概要	<p>目的：プレゼンテーションは情報や自己の意見、提案、研究の成果等 を決められた時間内に他者に伝える表現法である。グローバル化が進む中、英語でのプレゼンテーション能力を身につけることはますます重要になってくる。本授業では、英語で行うプレゼンテーションの技能を修得することを目的とする。</p> <p>概要：一方向と双方向のコミュニケーションに必要なスキルの主な違い（明瞭さ、声の大きさ、発音など）について説明する。自己の知識や意見、情報を相手に伝えるための効果的な情報のまとめ方やプレゼンテーションに必要なソフトの操作技術を指導する。グローバル化に関連するテーマを課題に実践的なプレゼンテーション能力や質疑応答の方法も習得できる内容の授業を行う。</p>					
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク					
学習上の助言	プレゼンテーションの練習は自分で録画し再生することで、自己の弱点に気づき、改善するために良い方法である。					
教科書	無し					
参考書	必要に応じてプリントを配布する。					
外部教材	無し					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	英語で情報を収集し効果的にまとめることができる。			HSU(2)		
②	パワーポイントを使った英語プレゼンテーションができる。			HSU(2)		
③	効果的な英語プレゼンテーションをするための要素を理解し応用できるようにする。			HSU(2)		
④	プレゼンテーションにおいて英語で質疑応答ができる。			HSU(2)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション：授業の内容、流れ、成績評価について学ぶ。	同時双方向型授業	シラバスを確認する。	0.25		
2	効果的なプレゼンテーションスキルを学習し、それらのスキルが会話スキルとどのように異なるのかを考察する。	同時双方向型授業	メモとクラスで配布された資料を確認する。	0.25		
3	発音、アイコンタクト、抑揚の重要性を学習する。	同時双方向型授業	配布されたスピーチを読んで自分自身を録画することにより、発音等を練習する。	0.5		
4	「ブレンストーミング」、「ワードウェブ」を学習し、プレゼンテーション計画に応用する。	同時双方向型授業	配布されたスピーチを読んで自分自身を録画することにより、発音等を練習する。	0.5		
5	インタビューの方法、インタビューによって得られた情報のプレゼンテーション方法を学習する。	同時双方向型授業	プレゼンテーションを作成して練習する。	2		
6	プレゼンテーション能力に関する自分の長所と短所を考察する。	同時双方向型授業	配布されたスピーチを読んで自分自身を録画することにより、発音等を練習する。	0.5		
7	優れたプレゼンターから、聴衆にインパクトを与えるプレゼンテーションスキルを学ぶ。	同時双方向型授業	配布されたスピーチを読んで自分自身を録画することにより、発音等を練習する。	0.5		
8	パワーポイント① Microsoft PowerPoint の基本機能を学ぶ。	同時双方向型授業	メモとクラスで配布された資料を確認する。	0.5		
9	パワーポイント② PowerPoint のデザインとその効果が聴衆の記憶にどう影響するかを考察する。	同時双方向型授業	プレゼンテーションを作成して練習する。	2		
10	パワーポイント③ 適切な PowerPoint デザインを通じて、聴衆を引き付ける方法を学習する。	同時双方向型授業	プレゼンテーションを作成して練習する。	2		
11	パワーポイント④ PowerPoint のアニメーション機能について学習する。	同時双方向型授業	教師からのフィードバックを取り入れながら、自宅でプレゼンテーションを行ってみる。	0.5		

【2023 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

12	プレゼンテーション後の Q&A（質疑応答）の準備と対処方法を学ぶ。	同時双方向型授業	メモとクラスで配布された資料を確認する。	0.5
13	プレゼンテーションの中で、より説得力のある情報や論点を構成する方法を学習する。	同時双方向型授業	プレゼンテーションを作成して練習する。	2
14	ペアやグループでプレゼンテーションのテクニックを学習する。	同時双方向型授業	プレゼンテーションを作成して練習する。	2
15	クラスで説得力のある最終プレゼンテーションと Q&A を行う。	同時双方向型授業	教師からのフィードバックを取り入れながら、自宅でプレゼンテーションを行ってみる。	1
試	最終成績は、クラスで行われたプレゼンテーションに基づく。(以下を参照)。			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	60	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	10	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	20	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	10	0	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	3回のプレゼンテーション原稿を評価する。スピーチの原稿 あるいはプレゼンテーションの原稿も)を提出する。1回目の原稿が5%、2回目15%、3回目20%、合計40%とする。情報内容の充実度、明確さ、論理性を評価する。				スクリプトの添削、返却
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		3回のプレゼンテーションを行う。1回目はクラスメイトの紹介、2回目は意見を述べる課題、3回目は説得力のある議論であり、Q&Aが続く。配点は1回目10%、2回目20%、3回目30%、合計60とする。発音、声量、アイコンタクト等のプレゼンテーション技術を評価する。				プレゼンテーション後にピア・フィードバック、自己評価を行う。教員評価を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2023 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

備考	
他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	17 年間日本で英語を教授しており、8 年間は本学で英語教育に携わっている。
実践的授業の内容	このクラスは、学生の英語を話すだけでなく、一般的に効果的なプレゼンテーションを行う能力を向上させることを目的としている。プレゼンテーションを通じてアイデアを伝える能力は、英語の範囲を超えた複数の利点がある便利なスキルである。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの一般的な長さや授業時間の制限により、このクラスの最大人数は 20 人とする。</li> <li>・Teams を使って遠隔授業を行う。</li> </ul> <p>この授業ではプレゼンテーションが中心となるため、ウェブカメラとマイクを備えたインターネット接続の良いパソコンが必須となる。授業開始前に各自のパソコン、ネットワーク環境、カメラなどの機器が正常に動作することを、各自の責任において確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の制約により、クラスの最終日にすべての学生が最終プレゼンテーションを行うことができない場合、残りの学生は期末定期試験指定時間にプレゼンテーションを行う（全員参加）。ただし、このように発表日が遅れた場合でも、授業最終日に発表のための原稿とパワーポイントの両方のデータを提出する必要があるので注意すること。</li> </ul>